

鹿児島県立 市来農芸高等学校

団体の紹介・活動の目的

鹿児島県立市来農芸高等学校は、今年で創立84年を迎える農業高校で、鹿児島県の主幹産業である農業を支える人材の育成を目指した学習を展開している。設置学科は【農業経営科】、【生物工学科】、【生活科】の3学科で、それぞれの学科で特色ある活動を実践している。

学校が位置するいちき串木野市は、豊かな自然、歴史と文化などの観光資源に恵まれている。また、豊富な食を活かした「食のまちづくり」を推進しており、地域全体で「食」を活用した地域の活性化を図っている。

そこで、地域活性化に向けて、行政や地域企業、研究機関、学校等との協働によって、同校で飼育する黒豚を商品化し、地域活性化を牽引するリーダーの育成および地域の活性化を図った。

活動の内容

市来農芸高校のオリジナルブランド黒豚「金の桜黒豚」を開発するためのワークショップを実施。取組は、地元の新商品としていちき串木野市の広報、新聞、テレビ等の多くのメディアで紹介され、市内の小学校で出前授業や料理教室や、市内の高校生が協力した新商品の開発。そして、県の関係機関などの産官学が連携した活動に広がった。

さらに、いちき串木野市のふるさと納税の返礼品として採用され、平成29年度は159件、平成30年度は精肉と肉加工品を含め429件となった。

連携・協力している団体など

いちき串木野市、株式会社 Table of Smile、HINOSASU CREATIVE OFFICE、味工房みその、スターゼンミートプロセッサー株式会社、鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場、国立大学法人鹿児島大学、鹿児島県串木野高等学校、学校法人神村学園高等部、いちき串木野市立川上小学校



① 「オリジナルブランド開発のワークショップ」

市来農芸高校で育てた黒豚の特徴について意見を交換し、生産者の思いが見えるブランド名の検討



② 「完成したオリジナルブランドロゴ」

いちき串木野市「金の採掘」。豚の足跡「桜の形」。学校のイメージ「桜」。高校生「金の卵」。青春と貴重を表現



③ 「小学生との料理教室」

地元小学校で「命」についての出前授業と料理教室。体験的な活動で、農業への理解を深める。



④ 「ふるさと納税のウェブページ」

いちき串木野市のふるさと納税の返礼として、自治体と学校が連携した取組みを全国へ発信している。